

わためき基金条例の制定

- 平成14年まで開設していた綿貫医院の親族から受けた寄附金の使途や運用方法を明確にするため、綿貫様の名字を冠した基金条例を創設

- Q 運用方法を聞く。
- A 子ども関連事業や福祉・医療関係事業に充てたい。

基金への積立額	5億8307万5839円
今後のスケジュール	令和5年10月 具体的な事業の検討 令和6年3月 議会に当初予算の上程

一般会計歳入歳出決算

町制施行50周年記念事業

4697万円

- Q 総括として町長の感想を聞く。
- A たくさんの事業が滞りなく実施できた。町民・関係機関の皆さまに厚く御礼申し上げます。
記念事業について、若手職員が率先して考えてくれたため、職員にも大きな財産となった。この経験やつながりを大切に、豊山町をさらに発展させたい。



50周年最後のイベント

産後ケア事業

16万円

- Q 利用者からの要望は。課題はあるのか。
- A 産後ケアを利用された方は2名。利用者からは上限の7日間を連続して利用したい希望があったが、空きベッドが確保出来ず2回に分けて利用していただいた。課題は、希望した日や日数を利用できるように、実施医療機関の拡大などに取り組むことである。

